

平成 23 年度 特例民法法人 岐阜県臨床検査技師会
第 1 回定期総会 議事録

1. 開催日時

平成 23 年 6 月 19 日（日） 14:34～15:25

2. 開催場所

県民ふれあい福寿会館・3 階・301 号室 中会議室

〒500-8507 岐阜市藪田 5-14-53

TEL 058-276-9305

3. 出席正会員数

543 名（出席者 44 名、委任状 499 名）

4. 議案

（1）第一号議案 平成 22 年度 事業報告について

（2）第二号議案 平成 22 年度 決算報告について

（3）第三号議案 平成 22 年度 監査報告について

5. 進行

- 1) 司会者 平沢 弘行 理事
- 2) 開会の辞 永井 正信 副会長
- 3) 会長挨拶 北村 顕 会長

4) 議長の選出

司会者は、議事に入る前に出席者に対して議長の選任について選出方法を募った。

会場内より執行部一任の声があり、司会者は議長として次の 2 名を指名した。

司会者に対する承認を求めた結果、満場一致の承認を得た。

議長	岐阜市民病院	伊藤 秀明 先生
	岐阜大学医学部附属病院	野久 謙 先生

5) 総会役員を選出

議長が総会役員を選出方法について募ったところ、会場内より議長一任の声があり、議長は書記 2 名、資格審査委員 6 名、議事録署名人 2 名を指名して会員の承認を求めた。

その結果、満場一致の承認を得た。

総会役員は下記に示した。

書	記	森 さゆり	(岐阜中央病院)
		林 晃司	(岐阜赤十字病院)
資格審査委員			
	岐阜地区	多和田 嘉明	(東海中央病院)
		金森 妙子	(岐北厚生病院)
	西濃地区	松浦 康弘	(株式会社メディック)
	飛騨地区	梶屋 孝二	(高山赤十字病院)
	中濃地区	平塚 弘枝	(岐阜社会保険病院)
	東濃地区	神谷 明男	(東濃厚生病院)
議事録署名人			
		松山 昌史	(岐阜市民病院)
		平沢 弘行	(岐阜県総合医療センター)

6) 資格審査委員報告

資格審査委員の多和田嘉明委員より総会出席者および委任状提出会員の資格審査報告がなされた。

正会員数 677 名中、出席会員数 44 名、委任状提出会員数 499 名で合わせて 543 名で過半数以上となり本会・定款第 23 条により本総会が成立することが報告された。

これにより議長は本総会の成立を宣言し、審議に入ることにした。

7) 議案審議

議案書に基づいて審議を行った。

第一号議案の審議は野久議長、第二号、三号議案は伊藤議長が担当された。

第一号議案 平成 22 年度 事業報告について

【議長】

- ・第一号議案 平成 22 年度 事業報告 についての報告を求めます。

○事業報告（総括）

北村会長より説明がなされた。

- ・平成 21 年度第 2 回定期総会で平成 22 年度事業計画について総括、各部からの事業計画が示され承認されました。また、この総会では、会費の改正についてご審議を頂き、岐臨技運営を適正にするために、5,000 円の値上げを承認して頂きました。任期満了に伴う役員改選では、役員推薦規定に基づいて各地区より役員候補が選出され、承認されました。さらにこの総会では、外部監事の選出もご承認頂きました。

牛丸監事さんです。

- ・平成 22 年度予算案については、充分検討する時間を頂くために、その後の平成 22 年度第 1 回総会に再度議案として提出し、審議の結果承認をして頂きました。いろいろ皆様にご指導を頂きながら執行してきたわけですが、今年度も宜しくお願い致します。
- ・学術部門では、各研究班を中心に事業計画に基づいて実施されました。また、学会関連は、第 59 回日本医学検査学会、第 49 回中部医学検査学会が開催され、会員の多数の参加がありました。
- ・岐臨技の精度保障部事業は、1 回の精度管理調査と 2 回の標準化調査を実施しました。県内 101 施設の内 57 施設と 14 のメーカーの参加がありました。参加施設各位のご協力、ご支援に深く感謝いたします。
- ・日臨技の精度管理調査は、平成 19 年度より全国的な標準化を実現するために基幹施設ネットワークを構築しました。臨床検査データ標準化事業の活動により、全国の施設間データの互換性は高まりました。信頼性が充分保証されていると評価できる施設に対しては、本年、平成 22 年度より「精度保証認証施設」として認定する制度が発足しました。
- ・これは、「臨床検査室の精度保証は臨床検査技師が行う。」を目的としています。岐臨技では、11 施設の精度保証認定施設が誕生しました。
- ・会計部門では、平成 22 年度より岐臨技会費を 10,000 円とさせて頂きましたが、後ほど会計部長より報告しますが、平成 22 年度予算に従って運用してきました。その結果、各事業部の節約の努力としてある程度の金額を残すことができました。詳しいことは会計部長から報告いたします。平成 23 年度事業の予算執行状況が平成 22 年度と同程度で終了するならば、岐臨技会費の在り方を再検討することにします。
- ・渉外部門では岐阜県臨床検査技師会誌、岐臨技会報を会員への情報提供の手段として取り組み発行しました。資料館については岐阜医療科学大学で検査機器の展示を行って運営しました。
- ・岐臨技ホームページは、会員のみならず一般国民向けの広報を拡大するとともに、日臨技ホームページとのリンク及び関連情報を掲載しました。学術カレンダーも含めて会員の皆様にとって最新の情報となるよう常時更新し、運営しました。
- ・本年度は精度保証事業部ページを開設し、フォトサーベイ CD、問題集、報告会、総括集を総合的に掲載しました。岐臨技携帯ホームページも充実したものとなり、携帯電話からも岐臨技情報を得ることが出来るようになっていきます。
- ・以上、主な事業について報告しました。詳細については各担当部から報告します。

【議長】

- ・それでは、各部門別の報告をお願いします。

○平成 22 年度学術部事業報告

近藤部長より説明がなされた。

1. 各種学会

1) (社) 日本臨床衛生検査技師会

- ・第 59 回日本医学検査学会は、神戸市で開催され、本県から一般演題座長 4 名（情報システム・微生物・生理・臨床化学）を推薦し、岐阜県として 8 演題を提出致しました。

期 間： 平成 22 年 5 月 22 日（土）～ 5 月 23 日（日）

開催地： 神戸国際会議場・神戸国際展示場

2) 中部地区臨床衛生検査技師会

- ・第 49 回中部医学検査学会は、石川県金沢市にて開催されました。

期 間： 平成 22 年 9 月 18 日（土）～19（日）

開催地： 金沢市 金沢都ホテル

3) (社) 岐阜県臨床検査技師会

- ・第 49 回岐阜県医学検査学会は西濃地区担当で、開催されました。

開催日：平成 23 年 3 月 6 日（日）

場 所：大垣市民病院

2. 総会・拡大研修会

1) 平成 22 年度 (社) 岐阜県臨床検査技師会

- ・第 1 回定期総会

日 時：平成 22 年 6 月 6 日（日） 10：00～12：00

2) 春季拡大研修会 および 3) 秋季拡大研修会 は中止となっています。

4) 平成 22 年度 (社) 岐阜県臨床検査技師会

- ・第 2 回定期総会

日 時：平成 23 年 3 月 6 日（日）15：00～17：00

場 所：大垣市民病院

3. 部門別研究班研修会報告

- 1) 病理・細胞診研究班は、年 5 回。
- 2) 微生物検査研究班は、年 7 回。
- 3) 生理検査研究班 は、年 6 回。

- 4) 一般検査研究班 は、年 6 回。
- 5) 臨床化学検査研究班は、年 2 回。
- 6) 血液検査研究班は、年 5 回。
- 7) 輸血検査研究班は、年 7 回。
- 8) 情報システム研究班は、年 1 回

このように、研究会を企画し開催しました。

- 9) 岐臨技 精度保障事業部 精度管理調査報告会につきましては、担当の部長より報告があります。

4. 日臨技委託事業

- ・中部地区研修会としましては、免疫血清検査研修会が、平成 23 年 2 月 26・27 日（土）（日）で大垣市民病院において開催されております。

5. 市民健康まつり

- ・年 5 回各地区に分かれて開催されております

6. 関連研修会・講習会

- ・平成 22 年度ガン検診従事者資格向上事業として年 3 回開催しております。

7. 啓発活動

- ・乳がん予防啓発活動およびH I V 予防啓発活動として研修会やビラ、ティッシュの配布などを行っております。

8. その他

- ・岐阜県病院協会ですが、この年は全国学会と重なりまして、第 60 回全国病院協会医学学会が、平成 22 年 7 月 22・23 日（木・金）に、長良川国際会議場において開催されております。

9. 論文推薦について

- ・毎年 1 月末日までに岐臨技事務所まで提出してください。

10. 学術誌発行について

平成 23 年 3 月発行（毎年 3 月） 6 論文を掲載しております。

以上です。

○平成 22 年度精度保証事業部事業報告

田中部長より説明がなされた。

- ・標準化で 2 回、精度管理 1 回、本年度より開始されました認証施設の審議が 1 回。これらのごことを平成 22 年度事業として実施してきました。
- ・日臨技からの強い推奨もありまして、標準化精度管理につきましてはプール血清を使用しまして値付けを行いました。
- ・第 1 回の標準化として活動を始め、結果速報を 7 月に行いました。
- ・精度管理の方は、フォトサーベイを実施しました。
- ・第 2 回目の標準化、精度管理につきましては、12 月に結果速報を行いました。
- ・1 月には認証委員会による岐阜県認定審査の会議を実施し、日臨技に報告しました。
- ・2 月には、日臨技の方から、認証施設として認めます という報告が来ました。
- ・認証施設については、本年 4 月、朝日新聞の方に掲載されました。
- ・1 月には精度保証事業部としての事業報告会を開催いたしました。

以上です。

○平成 22 年度組織調査部事業報告

臼井部長より説明がなされた。

1. 日臨技国民健康増進委託事業として乳がん撲滅啓発事業および HIV・STI 予防啓発事業を行いました。

乳がん撲滅啓発事業

日時：平成 22 年 9 月 12 日（日） 10 時～12 時

場所：アクアウォーク大垣・アピタ大垣店内（館内モール）

活動内容：乳がん撲滅啓発関連リーフレット、ティッシュパーパー、脂とり紙を配布

参加人数：23 名

HIV・STI 予防啓発事業

① 岐阜市主催のレッドリボンフラッグ作成

レッドリボンにエイズに関するメッセージを書いてもらい、集まったリボンを用いて、巨大フラッグをキャンパス代わりに作画し、メッセージを添えて作成した。この巨大フラッグは他の参加グループとともに 2 週間に渡って、JR 岐阜駅前通りに吊り展示された。

② 講演会開催

日時：平成 22 年 12 月 12 日（日） 11:00～12:00

場所：岐阜市民病院 講堂

講師：岐阜大学附属病院 エイズカウンセラー 鶴見広美先生

演題：「わが国のエイズの現状と予防の最新情報」

参加人数：会員 29 名 一般 7 名

③ キャンペーン案内を差込んだティッシュ配布

日時：平成 22 年 12 月 12 日（日）14:00～15:00

場所：イオン各務原

活動内容：HIV 予防のキャンペーン案内を差込んだティッシュ、日臨技から提供を受けた脂とり紙、及び関連グッズ 3,000 セット配布

参加人数：15 名

④ 県内公立高校と美濃地区中学校への HIV 予防に関するポスター、パンフレット、及び関連グッズを配布しました。

2. 女性部会活動（講演依頼）

第 49 回岐阜県医学検査学会にて

日時：平成 23 年 3 月 6 日（日）11:15～12:15

場所：大垣市民病院 講堂

講師：福井社会保険病院 検査部長 牧野栄美子先生

演題：「魅力ある女性技師とは」というテーマで講演をして頂きました。

3. 選挙管理規程作成について

- ・岐臨技役員選挙規程の作成を行いました。（平成 22 年 7 月）

4. 県内技師の実態調査についてのアンケート実施

- ・2 月の定期便にて技師会未加入技師の実態調査、技師会への要望等、技師会発展のためアンケートを配布しました。（3 月 26 日〆切）

集計結果につきましては、皆様の方へ出来るだけ早い時期にお知らせしたいと考えています。

今後につきましては、日臨技、岐臨技の新法人への移行後に第 2 回目のアンケートを考えております。

以上です。

○平成 22 年度広報宣伝部事業報告

山本部長より説明がなされた。

- ・22 年度は会報を 5 回発行しました。
- ・14 号（9 月）から配布部数を一施設一部に変更し毎月の定期便に同封して配布しました。
- ・14 号から 施設紹介を投稿された方に図書カードを贈呈しました。

以上です。

○平成 22 年度庶務部事業報告

平沢部長より説明がなされた。

庶務部事務員の業務としまして、

- ・各研修会案内等を発送（原則毎月 20 日に発送）しました。
- ・各委員会の案内と委任状を送付（電子メールでの運用）しました。
- ・事務所で行う会議予定の管理（必要に応じて会議資料の準備、弁当の手配）を行いました。
- ・日臨技、各種団体からの問い合わせの対応（必要に応じて会長、各理事に通知）をしました。
- ・会長判断により、ビル管理組合総会（11/26 平沢）および岐阜県医師会研修会（3/13 平沢）に参加しました。
- ・日臨技、各種団体からの文書管理を行いました。
- ・施設会員、自宅会員、賛助会員名簿の作成。（平成 23 年度対応）
- ・会費管理（日臨技の口座振替に伴う事務）に関する問い合わせの対応、文書の配布などを行いました。
- ・各委員会への出席者の旅費、日当の算出と支給（会計部と連携）を行いました。

事務所の利用状況につきましては、理事会、精度保障部委員会、臨床データ標準化委員会、班長会議、組織調査部会、広報宣部会等で利用されました。

理事会…6回、常務理事会…5回（1回はイオン）、精度保障事業部…10回
広報部…1回、監査（県、会計）…2回、HIVフラッグアート作成…2回
その他（会議・資料作成など）…11回

一般会員の利用はありませんでした。

事務所のカギ管理

- ・平 22 年度 鍵の管理状況は、紛失などの届けは無く適正に管理されていました。

以上です。

○平成 22 年度法人対応部事業報告

鈴木部長より説明がなされた。

- ・平成 22 年度は、計 4 回の法人セミナーに参加させて頂きました。
また、一般法人に対しての定款変更の案の作成を行いました。
- ・前回総会の際に説明いたしました、今後の予定として書かせて頂いた文章が見づら

いのご指摘が監事さんからありましたので、簡単に表を作成しまして本日配布させて頂きましたのでご覧頂きたいと思ひます。(別表参照)

《別表の説明》

- ・平成 23 年度分の『定款変更の案作成』に關しましては、だいたい出来ておひまして、牛丸先生から指摘を受けましたので、今後はそこを調べまして、牛丸先生と話めて行きたいと考えています。
 - ・8 月に予定しておひます『県医療整備課 法人移行相談会』につきましては、担当者が変わった事もあり、現在のところ開催案内は来ておりませんので、確認をしていきます。
 - ・その後、『電子申請の登録』をしていきたいと思ひます。そして、『定款変更の案の承認』を本年度の『第 2 回定期総会』にかけていきたいと思ひます。
 - ・定款変更の案につきましては、出来上がりましたら会報に載せますので、皆様も検討して頂きたいと思ひます。
- そして、平成 24 年 6 月 第 1 回定期総会において平成 23 年度決算報告が承認されましたら、一般法人として医療整備課に申請します。
- ・順調に行けば、平成 25 年 3 月頃に認可が下り、平成 25 年の春以降には登記が出来る予定です。
 - ・登記後に一般社団法人としての第 1 回定期総会を開催する事となります。

このような予定で進めて行きたいと考えておひます。

以上です。

【議長】

第一号議案について会員に審議を求めた。

意見、質問が無いことを確認し、議長は第一号議案について決議を求め、拍手による採決に入った。

結果、賛成多数により、第一号議案は原案通り可決承認された。

◎永井副会長が議長に発言を求め許可された。

《学術部 永井副会長》

●日臨技生涯教育研修登録について

- ・3 月 6 日に行なわれた、岐阜県医学検査学会および平成 22 年度第 2 回定期総会におきまして、出席された会員の登録ミスがありました。これは、私と事務所とのメールの遣り取りの中で、名簿の確認が不十分であったため発生したことであり、大変申し訳ありませんでした。

是正措置としまして、これからは総会、学会等が有りましたら、開催地区の担当者と

私と共同で確認作業を行う様にしていきたい。

2番目としましては、議案書の8ページにもありますが、『生涯教育参加登録について』を参考にして頂きまして、ホームページで個人の登録履歴を確認して頂きまして、もし登録漏れがありましたら、岐臨技事務所宛に連絡を頂きたいと思えます。

救済措置としまして、今回の登録漏れの名簿を日臨技に報告致しまして、登録できないかを打診したいと思えます。大変申し訳御座いませんでした。

議長 交代

第二号議案 平成22年度 決算報告について

【議長】

- ・平成22年度 決算についての報告を求めます。

○平成22年度 決算報告

会計部 兼子部長より説明がなされた。

議案書16ページ、17ページの『収支計算書』について

- ・「経常収益合計」は、予算額16,470,000円に対し、決算額18,997,865円となり、増減は2,527,865円の増でした。
- ・「経常費用合計」は、予算額14,795,000円に対し、決算額14,751,349円となり、増減は43,651円の減でした。
- ・「当期収支差額」については、予算額1,675,000円に対し、決算額4,246,516円と増益となりました。
- ・16ページの(1)「経常収益」の①の「会費収入」が、予算額13,700,000円に対し、決算額15,000,000円となり、1,300,000円の増益となりました。これは、会費の値上げにより会員数が減るとの予測から予算額を低めに設定しましたが、実際には会員数の減少は思ったほどはありませんでした。従いまして、会費収入が当初より増えております。
- ・②の「交付金収入」の「公益事業交付金収入」が600,000円ありました。当初は、無いとの予想でしたが、乳がん撲滅啓発活動、エイズ予防啓発事業等を行いまして、300,000円ずつ合計600,000円が日臨技より降りてきました。これが、予算額に対し増収となりました。
- ・③の「事業収入」の「研修会収入」の「部門別研究班研修会」も班長さん方が大変頑張って沢山の研修会をして頂きました結果、収入が増えております。
- ・「精度管理参加費収入」は、日臨技からのデータ標準化事業対しまして、交付金があ

り予算額より増えました。

- ・17ページの「事務所運営費 集計」は577,923円のマイナスとなっていますが、「減価償却費」を当初予算に入れていませんでしたので、その分マイナスとなっております。次回の予算からは入れていきます。
- ・③の「負担金支出」は日臨技へ支払う会費です。会員数があまり減少しなかったので、支払う金額も予算額の見積りよりも多くなりました。

○「正味財産増減計算書」について

- ・18ページの「経常収益計」は、当年度が18,997,865円、前年度が19,851,462円。
- ・19ページの「経常費用計」は、当年度が14,751,349円、前年度が15,482,385円。
- ・「当期経常増減額」は、当年度が4,246,516円、前年度が4,369,077円。
- ・「一般正味財産期首残高」は、当年度が4,803,719円、前年度が434,642円。
- ・「Ⅱ正味財産期末残高」は、9,050,235円となります。
- ・増減につきましては、岐臨技会費の値上げもありましたので、一概に評価するのは難しいとも考えます。

○「貸借対照表」について

- ・20ページの「Ⅰ資産の部」の1.「流動資金」の「現金預金」当年度8,992,539円は、銀行の残高証明書の合計の金額となります。
- ・「固定資産」につきましては、土地、建物、備品等を合計しまして5,547,696円となり、「資産合計」は14,560,235円となります。
- ・「Ⅱ負債の部」のが5,510,000円となります。
- ・「資産合計」―「負債合計」は、9,050,235円となり、「正味財産」になります。

○「財産目録」について

- ・21ページの「現金預金」が8,992,539円、固定資産等を合計すると、14,560,235円ですから、そこから負債合計5,510,000円を引くと、9,050,235円となり、「正味財産」になります。

以上で御座います。

第三号議案 平成22年度 監査報告について

【議長】

平成22年度 監査についての報告を求めます。

○平成22年度 監査報告

山本初津恵監事より報告がなされた。

監査報告

平成22年度会計期間（平成22年4月1日から平成23年3月31日まで）の業務及び

財産の状況についての監査報告を行いました。

その方法及び結果について、以下のとおり報告致します。

(監査方法の概要)

- ・私たちは、理事会に出席するほか、理事からその職務の執行状況を聴取し、重要な決裁書を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。また、事業報告並びに会計帳簿の調査を行い、計算書類の監査を実施しました。

(監査結果)

1. 事業報告は、事業報告は法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
2. 理事の職務の執行に関する不正な行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。
3. 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、計算書類と記録が合致しているものと認めます。
4. 計算書類は、法令及び定款に従い、損益及び財産の状況を正しく示しているものと認めます。

【議長】

- ・第二議案および第三号議案についての審議を求めた。

●質問（大垣市民病院 三田村会員）

- ・17 ページの「減価償却費」は、どのようなものが対象になっているのですか。

★回答（兼子会計部長）

- ・21 ページの「財産目録」の表で、建物、什器備品が「減価償却」の対象となります。

●質問（大垣市民病院 三田村会員）

- ・それは、5年とか物によって減価償却期間が違うものを足していくとこういう数字になるのですか。

★回答（牛丸監事）

- ・建物（マンション）の方は、15年から20年位の耐用年数がありますが、備品については5年というように見えていますので、このような予定になります。

●質問（大垣市民病院 三田村会員）

- ・700万円で買ったマンションが20年間で減価償却すると年35万円位の計算でしょうか。

★回答（牛丸監事）

- ・土地の分も少しあって、減価償却の対象は建物の分のみです。

【議長】

他に質問が無いことを確認し、議長は第二号、第三号議案の決議を求め、拍手による採決に入った。

結果、賛成多数が得られ、第二号、第三号議案は原案どおり可決承認された。

《会員からの意見など》

●意見（岐阜大学附属病院 星会員）

- ・昨年、医学検査に論文を投稿したのですが、日臨技の編集委員が公表されていないのが良く判らない事の一つ。
- ・審査の期間がすごく延ばされた理由は査読者が遅いとの事であったが、是非もっとレスポンスを上げて、期間を早めて貰えると有り難いと思う。他の学会は早い。

★回答（日臨技 山本理事）

- ・査読者は公開されていませんので、申し訳ありません。編集者はたぶん公表されていると思いますが、確認をしてみます。
- ・時間が掛かる理由についても問い合わせをしてみます。
- ・投稿して頂ける方には、本当に有り難く思っています。投稿については、年々減ってきています。皆様には投稿して頂いて日臨技を盛り上げて頂きたいと考えています。宜しくお願い致します。

●意見（岐阜市民病院 一柳会員）

- ・投稿しても何回も差し戻されて、もう止めなさいと言われた人があった。
- ・査読者も思い入れが強すぎる場合があるのではないのか。
- ・日臨技のサーベイについて、今回初めてネットで行いましたが、担当者の方も苦慮されているとは思いますが、データを入れるのが大変でした。検査部に一台しかパソコンが無い。いろいろと問題があるので、再度現場の意見も聞いて頂いて、結果入力までの期間も短いように思えるし、検討をして頂きたいと思えます。

○議長は、他に意見等が無い事を確認した後に、平成23年度第1回の定期総会の全ての議案審議が終了し原案通り可決承認された事を宣言し、本総会役員解任を行った。

○表 彰

北村会長、臼井組織調査部長

岐臨技表彰規定に則り、功労賞の表彰を行った。

【対象者】

- ・大沢克兆先生（高山赤十字病院）
- ・堀井栄三先生（株式会社メディック）

○閉会の辞（石郷 副会長）

- ・これをもちまして、特例民法法人岐阜県臨床検査技師会 平成 23 年度第 1 回定期総会を終了致します。どうもお疲れ様でした。会員の皆様有難う御座いました。

以上。

議 長

伊藤 秀明



議 長

野々 謙



議事録署名人

松山 昌史



議事録署名人

平沢 弘行

